

令和8年度岡山県脳卒中連携体制検討会議 議事概要

日時：令和8年10月5日（月）

18：30～19：05

Web開催（Zoom）

【議題】

（１）脳卒中の医療連携体制を担う医療機関等における令和7年度実績の集計について

（２）岡山大学病院脳卒中・心臓病等総合支援センターについて

【その他】

- ・ 脳卒中月間における広報について

1 開会

2 副会長選出

検討会議設置要綱第4条による副会長の選出について、事務局案により、門田委員が選出された。

3 議題

【（１）脳卒中の医療連携体制を担う医療機関等における令和7年度実績の集計について】

○事務局

（脳卒中の医療連携体制を担う医療機関等における令和7年度実績の集計結果を説明）

○会長

ただいまの事務局からの説明について何かご意見いかがか。

自由記載のところで、県北の体制について、毎年コメントをいただいている。県南西部の医療機関の先生方には急性期の機能を担っていただいております。回復期リハが強いところとかあるかと思うが、ぜひリハビリスタッフのモチベーション、あるいは研鑽の機会という意味でも、元のところへの逆紹介等も検討していただければと思う。

あと、県の計画で、脳梗塞の新規入院患者のうち、t-PA療法を実施した割合の目標を7.5%以上としている。昨今の状況を見ると高かった状況が少し減少傾向である。結果を見ると、血栓回収術が右肩上がりであり、血栓回収ができる体制が少しずつ増えてきているというのはあるかなと思う。令和6年度から令和7年度に関しては、t-PA療法を実施した割合も少し上がり、さらに血栓回収術の件数も増加しており、恐らくは、救急の先生方、救急隊の方々に、主要血管閉塞の評価等が浸透してきており、疑いのある患者は的確にトリアージしており、それによって、血栓回収あるいはt-PAの投与に至る症例が増えているのかと思う。そういった意味では、今回の結果は岡山県における脳卒中診療が効率的に実施できていることを示唆していると考えられる。

【（２）岡山大学病院脳卒中・心臓病等総合支援センターについて】

○会長

こちらは厚生労働省からの要請で、岡山県においては岡山大学病院が担わせていただいているもの。2024年7月に設置しており、2年経っている状況。センター長は病院長、副センター長は循環器系と脳神経系の内科外科の科長が担当している。院内にある、総合患者支援センターをお願いしながら、適宜相談があったら受け付けている。あと、本事業は、各医療機関のMSWの方々あるいはリハビリのスタッフのよりシームレスな情報共有を狙いとしている。以前も申し上げましたが、倉敷のK-CASTあるいは岡山のもも脳ネット、県北は津山中央病院を拠点にしっかりとした体制がとられている状況において、岡山大学病院が旗振りをする限界もあるかと思うが、それぞれの医療圏間の情報共有ができればなと思っている。

ホームページも作成しており、いろいろな案内は出しているが、ここにどういったことを掲載するかということは、今後検討していきたいと思っている。センターについて周知されれば、公開講座や脳卒中関連の事業に関してはこのページに掲載するということも一つの手と思っている。

相談窓口は、病院の入ってすぐの総合患者支援センター内に併設している。

こちらは、相談実績になる。新規患者数は822人であり、そのうち当院に通院している患者は636人。支援にする理由となった原疾患は、実はほとんどが心疾患であり、脳卒中は70人という状況。

支援体制としては、対面や電話などであり、比率は資料のとおりである。支援内容としては、⑧社会システムの提供が多く、⑬在宅療養の問い合わせに関しては少しご指南をさしあげるところが主な相談・支援事項であった。今まで行ってきたことではあるが、センターの事業として行っている。

また、センターの事業として県民公開講座も何度か開催している。県南東部には、もも脳ネットがあるため、そこと共同するような形で行っており、今年度は10月24日(土)に県医師会館で、昨年度については1月18日(日)に岡山労災病院で開催した。参加者は200人程度集まっていたが、かなり盛況だった。脳卒中の医師やリハビリ、MSWと様々な職種の方々に講演していただきながら、トータルケアをどのように進めていくかということをご紹介をした。また、ブース展示もあった。

幸い県の方々が何とか財源を引っ張ってきてくださり、全県的に見ると標準的、少なくとも他県に比べて遅れをとっているということはないくらいの財源を確保いただいている。また、国からも同額の助成をいただいているため、今後もしばらくはこういう形で進めていくと思っている。何かご提案等があれば忌憚のないご意見をお待ちしている。

○委員

岡山県内の医療関係者は、岡山大学を大変頼りにしていると思う。また基幹病院も本当に連携をよくしてくださっている。こういったプレゼンスを示してくださるということは、皆様にとって大変良い影響があると思うとともに、県民の皆様も心強いと思う。

既存の取組とうまく強調しながら、私たち保健所の方にもお声がけもいただいて、厚みのある充実した内容にしていくように我々も努力したいと思う。引き続きどうぞよろしくお願いしたい。

○会長

温かいお言葉をいただきありがたい。そのように進めていければと思う。

来年の4月第一週の土日に、脳神経外科の地方会を主催する関係で、市民公開講座を開催しなくてはならない。県の方と相談になると思うが、こちらの市民公開講座をセンターとの共催という形で進めさせていただければ、実績という意味で伴うと思っているので、また相談させていただく。

4 その他

【脳卒中月間における広報について】

○事務局

脳卒中月間の広報について、報告する。脳卒中月間に合わせて、ラジオ及びテレビ広報を実施している。ラジオ広報については、八木田先生にご協力いただいた。また、昨年度に引き続き、世界脳卒中デーである10月29日に合わせて、岡山城及び県庁正面玄関ピロティ、新見市健康増進施設「げんき広場にいみ」を世界脳卒中機構のシンボルカラーであるインディゴブルーにライトアップする。

以 上